



「ほっとルーム」だより

第174号 令和5年2月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(子どもみらい課内 TEL 33-5618)

♡ アンケートへのご協力ありがとうございました ♡

市内全小学校の保護者の皆様に、アンケートをお願いしましたところ、ご多用中にもかかわらずご協力をいただき、貴重なご意見をたくさんいただきました。深く感謝申し上げます。今後の取組に活かしていきたいと思っております。アンケート結果の概要は、下記のとおりです。

1. 家庭教育に対する悩みについて

- 悩んだり不安になったり感じたりすることが「いつも感じる」7% 「たまに感じる」53% 合わせて60%でした。
- 「メディア（テレビ・ゲームなど）との付き合い方」に悩んでいる方が24%と、最も多く、学年が上がるほど高くなる傾向にあります。

2. 相談できる相手について

- 配偶者が、27%、実父母・義父母23% 子育てする仲間21%でした。

3. 参加したい家庭教育を学習する場について

- 「PTA」が20%、「子育て講座」が19%、「家庭教育学級」が17%でした。
- 「ほとんどない」が最も多く、38%でした。

4. 保護者同士の交流の機会

- 交流の機会としては「学校行事」35%、「ママ・パパ友」が24%と多く、「地域活動」「少年団活動」がそれぞれ15%でした。

5. 地域活動の参加について

- 「都合が合えば参加する」89% 「参加しない」9%でした。

6. 「ほっとルーム」だよりについて

- 「毎号読む」38% 「時々読む」45% 合わせて83%の方が、読んでくださっていました。
- 内容等に関するご意見や、「ほっとルーム」だよりが子育てを振り返る機会になっている等の感想も、多数いただきました。

7. 「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」について

- 75%の保護者が「出向いて開設してもらうのは良い」という意見でした。
- 「その他」が10%で、「よくわからない」「窓口があることは大切だが気軽に参加できるか？」等のコメントがありました。

8. 長子家庭訪問について

- 83%の保護者が、「良いと思う」という意見でした。「その他」が10%で、「希望者のみで良い」「仕事等で会えない」という意見がありました。

- 子育てに悩みはつきものですが、悩んだり不安に感じたりすることが「いつも感じる」7%、「たまに感じる」53%、合わせて60%でした。「悩みを抱えていても、誰にも話せない」というご家庭もありますので、今後も、1年生の全長子家庭を訪問させていただきたいと思っております。お仕事等で留守にされていても気になさらないでください。また、ご希望があれば長子家庭に限らず、どの学年でも訪問いたしますので、日時を子どもみらい課(33-5654)までお知らせください。
- 「おあしす」は、悩みが無くても、保護者の頑張りや子どもさんの成長を語り合う場でもあることをお知らせするとともに、入りやすい雰囲気づくりに工夫し、コロナ禍でも感染対策を十分に行い開設したいと思います。また、個別の対応など工夫をしていきます。
- 「ほっとルーム」だよりは、分かりやすく親しみやすい情報紙を目指して、家庭教育に関する学習の場や保護者の皆さんが集う場(読み聞かせ等)などを取材し、情報提供をしていきます。
- 今後も引き続き、いちき串木野商工会議所や市来商工会、青年会議所や各事業所へ「ほっとルーム」だよりをお届けしたり、提言を頂いたりする中で、働いていらっしゃる子育て中の保護者の皆様への支援をお願いしていきます。

~ほっとルーム~
(子どもみらい課内)

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

TEL : 33-5654

FAX : 32-3124



荒川小学校で「ほっとルーム」の出前サロン 「おあしす」を開設しました。



1月20日(金)、家庭教育学級の時間を利用して、「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」を開設しました。今回は、8人のお母さんが参加されました。メディア(スマホ・ゲーム等)とのつき合い方やお手伝いの与え方、一人ひとり違う子どもさんへの接し方などが話題に上がり、熱心に語り合いました。最後は教頭先生の「完璧は求めない。今日学んだことを一つは頑張りましょう。」の言葉で終わりました。

日々振り返りながら、子育てを頑張っている貴重なお話を聴かせていただきありがとうございました。これからも子育てを応援しています。

子育て情報

旭小学校 読み聞かせグループ

「くすのき会」の活動紹介

旭小学校読み聞かせグループ「くすのき会」は、平成18年4月、当時の先生や司書補さんが地域の人に会員を呼びかけて発足しました。現在は、誘われたり、読み聞かせをやりたくて自ら会員になられた3人で活動しています。以前は週に1・2回実施されていた朝の読み聞かせは、新型コロナウイルス感染症の流行とともに、今では年に4回の実施となっています。

1月12日(木)の朝には、今年度最後の読み聞かせがありました。各教室に読み手の方が一人ずつ入り、今回は、子どもたちがあらかじめ選んだ本を読まれました。子どもたちは、絵本をじっと見つめて途中でうなずいたり、友だちと目を見合わせたりしながら本の内容に聴き入っていました。お話の後には、子どもたちから読み手さんへ、お礼の言葉と共にプレゼントを手渡ししていました。

～子どもたちの感想～



優しく、ゆっくりお話を読んでくれるところが好きです。

今年最後の読み聞かせでした。いつも本を色々読んでくださって、もっと本が好きになったし、低学年の時の本を見て懐かしく思ったりして、読み聞かせがますます好きになりました。



読み手さんより

読み聞かせをしていて楽しいです。子どもたちの元気な挨拶や真剣な眼差しで聴いてくれる姿に、私たちが元気をもらえます。体力が続く限り、読み聞かせを続けていきたいと思います。



子育て アドバイス

子育てという言葉には、
親が子どもを育てるといふ面を強調するような
響きがあります。

でも大事なのは子どもの育ちです。
いつの間にか子どもの育ちということ
あまり考えずに、自分の思う方向に
一生懸命引っ張っていかうとする子育てに、
なりすぎてはいないでしょうか。



広木 克行著
「親と子の絆を深め合う道程」より

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24 ☎0120-783-574
24時間子どもSOSダイヤル ☎099-294-2200※携帯電話からはこちら
PTAすくすくライン(家庭教育やしつけについて) ☎0120-0-78310
☎099-251-0309